

日本ユニシス株式会社

2017年3月期 決算説明会 (2017年5月9日開催)

主な質疑応答 (ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。)

【質問者 A】

Q : 17.3 期 4Q に獲得した BankVision の新規顧客案件は、18.3 期以降の業績にどのように貢献するのか教えてほしい。また、これに続く BankVision の受注を今後どのように見込んでいるのかも教えてほしい。

A : BankVision で今回新規に獲得した案件については、17.3 期 4Q に、ソリューション売上を計上した。今後数年にわたって開発プロジェクトが走り、さらに本番稼働後は、アウトソーシングサービスとして提供予定のため、このビジネスは長期間にわたって業績に貢献してくるものと期待している。

また、今後の拡販については、18.3 期においてさらなる新規 1 行の獲得を計画に織り込んでいる。マイナス金利の影響がある中で、金融機関の ICT 投資は少し慎重になっているものの底堅く、BankVision においては、FinTech につながる API 公開などの新しいサービス等を強化していることから、これらを武器に早期でのさらなる新規獲得を目指す。

Q : 18.3 期の売上総利益増益 (前期比 +33 億円) のうち、約半分がアウトソーシングでの増益 (同 +15 億円) となっているが、何が伸びるのか？

A : 決済関連分野が引き続き伸長すると考えている。また、17.3 期に信用金庫向けの基幹システムで新規稼働があったほか、このゴールデンウィーク明けからは大垣共立銀行様で BankVision が新たに稼働を開始した。さらに、中小型のアウトソーシング案件も取れているため、これらが 18.3 期のアウトソーシングの増収増益に寄与すると考えている。

Q : システムサービスの売上が 17.3 期 2Q 以降伸び悩んでおり、受注残高も減少している。サービス型ビジネスへのシフトに伴い、売上がアウトソーシングセグメントへ移っている影響もあると思うが、BankVision の新規開発も始まる中、18.3 期の見通し数字は少し心許ない印象だ。現在の活況な需要環境においては、案件をたくさん取って陣地を広げたほうが良いのではないか？

A : システムサービスについては、17.3 期はシステムエンジニアの稼働を千数百人月分程度落とし、その分エンジニアには自由な時間を与え、新技術や新たなサービスの研究に取り組んでもらった。現在は、サービス型ビジネスにつながる開発案件を選別して受注する戦略をとっている。その面で、システムサービスからアウトソーシングへと売上がシフトしているのは事実である。ただし、売上・利益水準はキープしたいと考えているので、既存のお客様向けのビジネス拡大に向けた取り組みは強化していく。

当社がサービス型ビジネスへとシフトしていることに加え、お客様側自身も、大型の開発プロジェクトをいちから立ち上げるよりも、ソリューション適用やサービス導入といった形態に変わってきており、案件規模も中小型化している。それが足元の受注高の減少につながっていると分析しているが、システム構築は当社の本流ビジネスであるため、今後もしっかり対応していく。

日本ユニシス株式会社

2017年3月期 決算説明会 (2017年5月9日開催)

Q : 17.3期3Q業績において、賞与費用計上方法変更の影響が出ていたかと思うが、4Qにおける影響額を確認したい。

A : 従来は2Q末と4Q末に計上していた賞与費用を、17.3期から各四半期末に計上するよう変更したため、3Qにおいて18億円の賞与費用を計上していた。前期までは4Q末に下期分の賞与費用をまとめて計上していたことから、3Q計上額18億円が、4Qの負担減となるわけだが、業績連動賞与であるため、増益に伴う賞与支払増加分を加味すると、4Qにおける賞与費用負担減のインパクトは、営業利益で約8億円となった。

【質問者B】

Q : システムエンジニアを現場からはがして研究活動のための時間を与えたとのことだが、これによる影響が18.3期の研究開発費が5億円増加する要因か？

A : システムエンジニアを現場からはがしたわけではなく、例えば、エンジニアそれぞれが1週間のうち1回は連続3時間以上、既存業務以外のことに取り組んだり、さまざまな新技術の研究や、実証実験等に参画できるような時間を作らせている。これらの取り組みによる影響をカバーして収益性の向上が図れているので、この戦略はまずは上手いことだと思っている。さらに、実際の実証実験やプルーフオブコンセプトなどに取り込み、お客様や地域を巻き込んだ案件もすでに出てきている。今後は、この活動をR&Dとして見えるようにして、さらにはしっかりマネタイズできる形へと変えていきたい。

以上